

**学校教育目標**  
**自主性に富み、互いを尊重し、共に創造する生徒の育成**

<b>めざす学校像（ビジョン）</b>	<b>「高め合う学校」</b>	<b>重点目標の設定理由</b>
<学校像> <b>信頼される学校</b> *創造性のある学校 *落ち着いた学校 *開かれた学校	<生徒像> <b>進んで実践できる生徒</b> <b>互いを大切にできる生徒</b> <b>自ら学び、考え、表現できる生徒</b> *あいさつができる *掃除ができる *人の話を聞くことができる	<教師像> <b>信頼される教職員</b> *工夫する教職員 *生徒と共にある教職員 *謙虚に学ぶ教職員
小グループによる教員の研修システムを取り入れて数年が経過し、全教員が年2回以上研究授業を行い、授業改善に対する意識も高まっているので、さらに継続発展させていきたい。また体験学習や行事の取り組みは本校の伝統となっているところであり、美化意識の啓発や人間関係づくりと合わせて、本校の教育活動のよりどころとなっている。		

領域	中期経営計画	短期経営計画	具体的方策	評価指標・評価基準	
				努力指標	成果指標
学力の向上	自らの学びの追求と基礎・基本の定着	教職員の活発な研修により指導力を高める。	全体・学年・グループ研修や校外研修を全職員に還元し、学校教育目標の具現化を図る。		各教職員が意欲的に研修しているか。
		表現力の向上を通し、学びを追求する生徒の育成を図る。	相手を意識した表現の仕方やその場の設定や工夫を通して、活用・探究型の授業改善を行う。		生徒が意欲的に授業に取り組んでいるか。
		生徒が自ら学びを追求する学習集団を育てる。	自主学習(宿題等を含む)を1, 2, 3年で1, 1, 2時間を達成させる。		生徒が自主学習の目標を達成しているか。
			授業規律の確立により一人ひとりの学びを向上させるための学習集団を育成する。		生徒が授業規律を意識して授業に臨んでいるか。
豊かな人間性の確立	道徳教育の充実	教員間の交流、研修を通して道徳授業展開の技量向上を図る。	2ヶ月に一度、学年会で道徳の研修会を持つ。授業観察や交流などから、改善への情報を共有し心的内化への手だてを練る。		生徒が道徳の時間に自分の考えを深めることができているか。
	感動ある体験活動の推進	体験学習や行事に対して意欲的に取り組ませ充実感を味わわせる。	目的と見通しをもたせることで意欲を喚起し、生徒と生徒あるいは生徒と教師の共感的かかわりの場を充実させる。		体験学習・体育祭・心を伝える(合唱、群読の総合表現)に生徒が意欲的に取り組み、充実感を得ることができたか。
	望ましい生活習慣および人間関係の基盤づくり	生徒、教師の美化意識および相手を尊重する意識の啓発(掃除・挨拶・敬語)を毎日の具体的活動場面で徹底する。	清掃週目標を設定させ、掃除の仕方を定期的に見直させることで生徒の美化意識を高める。  TPOに応じた挨拶や敬語を身につけさせ、校内での望ましい人間関係づくりを指導する。		生徒が学校を美しくするため、自ら積極的に掃除に取り組んでいるか。  TPOに応じた挨拶や敬語が使えているか。
体力の向上	健康・体力づくりの推進	将来にわたって運動に親しむために、生徒一人ひとりが体力の向上を図ると共に、自らの生活習慣、食習慣、運動習慣を見つめ直すことを通じて、自ら健康体力づくりを行う姿勢を培う。	運動習慣の改善 保健体育の授業に加え、自発的運動に取り組む啓発を行う。		生徒が自発的運動を意識して取り組んでいるか。
			生活習慣の改善 「早寝・早起き・朝ご飯」に取り組む啓発を行う。		生徒が「早寝・早起き・朝ご飯」を意識して取り組んでいるか。
			食習慣の改善 1日3食の規則正しい食事を心がける啓発を行う。 好き嫌いのない食事を心がける啓発を行う。 1日30品目以上の食材摂取を心がける啓発を行う。		生徒が食習慣の改善を意識して取り組んでいるか。
よるまちぐるみに教育の推進	地域人材の活用	ゲストティーチャーを活用して授業を充実させる。	必修教科、選択教科、体験学習、総合学習、道徳などにおいて積極的に地域人材に協力を依頼する。	全校で年間何回、ゲストティーチャーを招いての授業機会をもったか。(8回以上、7回、6回、6回未満の4段階で評価)	
	学校情報の公開と説明責任	毎月、学校を公開する行事を組み込むとともに「学校だより」「WEBページ」により、情報発信を行う。	参観日、懇談会、説明会等により、毎月保護者地域に学校を公開する行事を組み込む。	毎月学校を公開する行事を組み込んだ。	
			学校の取り組みを、毎月WEBページで更新し、情報を発信する。	毎月WEBページの更新を行った。	